

## ブロガーが東北を、「書いて応援！」 「きっかけバス47」の告知を通じて、東北の記憶の風化防止に努める

公益社団法人 助けあいジャパン(本部:東京都港区 代表理事:野田祐機)は、全国47都道府県から学生約2,000名を被災地へ送る震災の風化防止プロジェクト「きっかけバス47」の実施に向けて活動しています。この度、株式会社アイズ(東京都渋谷区 代表取締役:福島 範幸)が本企画の趣旨である震災の風化防止に賛同し、運営する「レビューブログ」所属のブロガーに、震災や防災のブログを書くことで震災の記憶の風化を防止するキャンペーンを開始し、これまでに8,000人以上に東北の状況を伝えています。

### ■ ブロガーが東北を、「書いて応援！」

本キャンペーンは、株式会社アイズが運営するインターネットサイト「レビューブログ」において、所属のブロガー70,113人(2013年11月時点)によって行われるキャンペーンとなります。株式会社アイズが「きっかけバス47」の取り組みに賛同し、所属ブロガーに対して「ブログを書くことによって、東北を支援する」ことを呼びかけ、2013年12月20日からキャンペーンを開始しています。(※1、※2、※3)

助けあいジャパンでは、キャンペーンにあわせた情報ブログを立上げ、復興と防災の情報をブロガーに提供していきます。ブログでの情報発信を通じて、東北を応援していきます。

### 《開始後、キャンペーンの現状報告》

記事掲載:36記事

記事閲覧数:13,376(PV) ※記事閲覧回数

記事閲覧人数:8,737(UU) ※記事閲覧人数

(2013年12月20日から2014年1月15日までの実績)

※1 本キャンペーンによるブログ記事には、「レビューブログからの情報」もしくは「広告主からの情報」と明記され、その他のブログと区別されています。

※2 本キャンペーンに賛同しブログを書くことによって、ブロガーに対してインセンティブは発生しておりません。

※3 今後は被災地の特産品などをインセンティブにすることで、ブログを書くことで復興に関わるような枠組みも検討中です。

本取り組みにおけるブログ記事の一例:

きになり 東日本大震災・避難生活者数 277,609人の為に!!

<http://kininaritai.blog.fc2.com/blog-entry-332.html>

復興旋風を再び!!～復興支援プロジェクト『きっかけバス』～

<http://mamacanhustle.jugem.jp/?eid=2553>

きっかけバス47: 今日のイチオシ

<http://juntama.cocolog-nifty.com/blog/2013/12/post-be5b.html>

＜本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先＞

助けあいジャパン きっかけバス事務局 担当:弥富(イヤドミ)

TEL: 03-3583-2627 FAX: 03-5574-7202 Mail: tj.kikkakebus@gmail.com

報道関係者各位

公益社団法人 助けあいジャパン

助けあいジャパンの情報ブログ:

復興きっかけオープンデータ ～シェアして、書いて、ボランティア～

<http://kikkakeopendata.tumblr.com/>

なお、本取り組みは3月末日まで展開され、震災の記憶の風化防止を目的としたブログが今後も継続して発信されます。

## ■ 『きっかけバス47』とは

私たち現役の学生が中心となって行う、東日本大震災の風化防止プロジェクトです。震災から丸3年が経とうとする今でも、東北の人々は「記憶の風化」と「風評被害」に苦しんでいます。これを解決するためには、より多くの人に東北に訪れてもらい、震災で何が起こったのか、人々は何を感じたのか、そして今の東北はどうなっているのかを正しく知り、伝え広める必要があります。

このため私たちは、2014年2月から3月にかけて、全国47都道府県から約2000人の学生を乗せて、東日本大震災での出来事と東北の今を知り、「復興」と「防災」を学ぶためのバスツアーを実施します。本企画は、旅による東北支援を進めている観光庁からも後援を頂いており、震災月命日にあたる11月11日(月)には、本企画の実行メンバーの学生10名が観光庁を訪問し、久保成人長官から激励の言葉も頂きました。



2013年11月11日 観光庁長官室にて久保成人長官と

## ■ 大人が資金を、学生が時間を。共に参加する新しい支援のかたち

本企画は、まったく新しい寄付の概念を打ち出しています。それは、資金の出所と、実際に活動する者が別々で、双方で補完し合って東北支援を実現するということです。

学生は本企画に原則無料で参加が出来ます。その代り東北に赴き、現地の人と触れあい、学習し、ボランティア活動をし、その知識を各人の地元を持ち帰ります。一方社会人は、学生の交通費・ツアー代金などを負担することで本企画に参加し、共に東北の復興支援に関わり、各地域の防災力向上にもつながります。実際に、9月に行われたリーダー研修はこの方式で支援金を募り、多くの声援とともに500万円以上の支援金を頂き、各県のリーダー47名が被災3県を巡り研修活動を行いました。

## ■ 東北のいたみを学生が知り、「防災知識」として全国に持ちかえる

本企画のプログラムの中には、ボランティア活動の他にも、岩手県陸前高田市で語り部のお話を聞くなど、震災当時の状況や当時の課題を学ぶことにも重点を置いています。これは震災当時に直面した課題を知ることで防災意識を高め、今後発生すると言われる南海トラフをはじめ、災害に備えるという意図があります。

＜本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先＞

助けあいジャパン きっかけバス事務局 担当: 弥富(イヤドミ)

TEL: 03-3583-2627 FAX: 03-5574-7202 Mail: tj.kikkakebus@gmail.com

報道関係者各位

公益社団法人 助けあいジャパン

■ 『きっかけバス 47』 ツアー実施概要

実施時期：2014年2月～3月(県ごとに日にちが異なる)

目的：学生が被災地を訪問し、現地の方々との交流やボランティア活動などを通じて震災について知り、防災について学ぶ

参加者：全国47都道府県から各40名の大学生・短大生・高専生、合計約2000名

参加費：原則無料(支援金の額により一部学生負担の可能性あり)

支援金：本企画に賛同する社会人・企業からの支援による

活動地域：岩手県・宮城県・福島県(県により活動地域は異なる)

後援：観光庁、内閣府、岩手県、宮城県、福島県

URL：<http://kikkakebus.tasukeaijapan.jp/>

【ご参考】9月のリーダー研修の様子(撮影日:2013年9月6日～9月10日)



47人の集合写真(東京本部)



現地の方とのふれあい(大槌町)



現地の人から震災当日の状況を聞く(陸前高田市)



犠牲者への黙とう(南三陸町)

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

助けあいジャパン きっかけバス事務局 担当:弥富(イヤドミ)

TEL: 03-3583-2627 FAX: 03-5574-7202 Mail: tj.kikkakebus@gmail.com

2014年1月17日

報道関係者各位

公益社団法人 助けあいジャパン

### 【助けあいジャパン 概要】

東日本大震災直後より、内閣府ボランティア連携室と連携して、「正確な情報を届けること」を使命に、ホームページ、facebook、twitter、youtubeなどのインターネットメディアを通じて、復興支援情報・防災情報などを発信し続ける復興支援団体です。2012年3月に公益社団法人として認可され、現在は情報発信の他、県の復興事業を受託するなど、岩手、宮城、福島、東京の4拠点で復興事業を展開しています。

団体名:公益社団法人 助けあいジャパン

代表理事:野田 祐機

所在地

東京本部:〒106-0045 東京都港区麻布十番 1-10-10 ジュール A 8F dreamdesign 内

岩手支部:〒020-0866 岩手県盛岡市本宮 5-10-15 しえあハート村 115 棟

宮城支部:〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡 5-12-55 NAViS ビル 1F cocolin 内

福島支部:〒960-8141 福島県福島市渡利番匠町 56-5 テラス 18 107 号

URL: <http://tasukeaijapan.jp/>

設立年月日: 2011年8月9日

事業内容: 震災や災害などの情報の収集、分析及び発信事業  
震災や災害などを支援する方々への支援に必要な情報提供事業  
震災や災害後の関心の低下を防止するためのキャンペーン事業  
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

### 【株式会社アイズ 概要】

団体名:株式会社アイズ

代表:代表取締役:福島 範幸

所在地:〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-8-6 宮益坂 STビル 4F

URL: <http://www.eyez.jp/>

設立年月日:2007年2月14日

事業内容:クチコミ事業「レビューブログ」、キャスティング事業「ビシュラン」、マーケティングポータル事業「メディアレーダー」、SEM(リスティング広告、SEO)事業「リスコン」、ブランドセキュリティ事業「外し屋」

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

助けあいジャパン きっかけバス事務局 担当:弥富(イヤドミ)

TEL: 03-3583-2627 FAX: 03-5574-7202 Mail: tj.kikkakebus@gmail.com